

同窓会会長就任挨拶



新会長 牧本 憲尚
 (1977年度 社会福祉学科卒業)

皆様、日頃は同窓会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

私は、2010年2月同窓会役員総会において、岩崎啓一前会長の後任として、会長に就任いたしました。本同窓会がスタートしたのは、半世紀近く前になると聞きました。当時は、大学職員が仕事の片手間に行っていたと聞いております。その後の長い年月の中でさまざまなことを経過し、ある時は同窓会の解体にまで及ぶような危機の時も何回かあったとお聞きしています。そんな時、前岩崎会長や元林会長を始め、多くの諸先輩が手弁当で駆けつけ再建され、現在の同窓会を築き上げられた話も聞きました。これら先輩が築き上げてこられた資産を受け継いでさらに継続・発展させるため、今回の役員改選で任命された役員全員で、微力ではございますが、全力を尽くす覚悟ですので、よろしくお願い申し上げます。

昨年は、四国学院創立60周年。地域と共に60年の歴史を持つ学校法人瀬戸内学院(旧上戸学園)に対する経営再建支援の表明。また、教学面においても本学の原点とも言えるリベラルアーツ概念を基礎に、19のメジャーと1のマイナーから構成されるメジャー制度を導入するなど新たな一歩を踏み出しました。今後も大学との連携を図りつつ、支援、協力していきたいと思っています。

言うまでもなく、同窓会活動の原動力は、同窓生と同窓生との交わりが不可欠なものと考え、今期も引き続き支部活動の活性化に努めてまいります。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

四国学院同窓会新役員

会長	牧本憲尚 (1977年度)	社会福祉学科卒業)
副会長	山本宏 (1977年度)	人文学科卒業)
副会長	大塚正樹 (1984年度)	人文学科卒業)
書記	飛田由香 (1983年度)	英語科卒業)
書記	藤川珠美 (1985年度)	英文学科卒業)
会計	永吉浩樹 (1986年度)	教育学科卒業)
会計	黒石英幹 (1996年度)	英文学科卒業)
監事	松田信一 (1982年度)	人文学科卒業)
監事	井下美保 (1999年度)	人文学科卒業)

2010年度主な事業計画

- 同窓会支部の活動強化と未設置支部の設置
- 卒業後の教育支援
- ホームカミング支援
- 在学生課外活動団体への支援
- 同窓会各会合への在学生参加 他

CONTENTS

四国学院創立60周年記念事業報告



大学正門



会場となった711教室



記念講演会



服部健二さん



岩崎啓一前同窓会会長



四国学院大学末吉高明学長



講演を終えて



懇親会

2009年10月17日(土) 四国学院大学にて 四国学院創立60周年記念同窓会総会が開催され、110名の同窓生にお集まりいただきました。同日、岡山から善通寺に会場を移し岡山県支部総会やESS同窓会、昭和37年入学生同窓会も開かれました。1970年度人文学科卒業の服部健二さん(現在、立命館大学教授)に、「大学の今と昔、哲学教師の現場から」と題して、記念講演をお願いしました。



記念写真

支部総会報告

高知県支部

支部長 横山 義郎さん
(1971年度 人文学科卒業)

2003年11月29日に高知県支部を結成し、母校の発展に寄与する等々の目標を掲げて活動を開始しましたが、母校に対する思いも低く活動休止状態で推移して参りました。同窓会本部からの要請もあり、2009年8月22日、杉本副学長、岩崎前会長等をお迎えて母校の様子をお伺いし、第2回支部総会を開催することが出来ました。役員改選や今後の活動等を話し合い親睦の時を持つことも出来ました。今後の活動としては、2年に1度、会員相互の親睦を図りながら母校への関わり方等についての話し合いの時を持つ事になりました。次回は2011年8月第3土曜日に、「リバーサイドホテル松栄」で開催いたします。支部活動の充実をはかるためにも卒業生の積極的なご参加ご協力をお願い致します。



岡山県支部

支部長 横山 芳彦さん
(1977年度 人文学科卒業)

2009年10月17日(土) 本学院で創立60周年の記念事業が催されており、記念事業の参加も兼ねて四国学院大学内七号館(光風館)724教室で第2回岡山県支部総会を開催いたしました。同窓会本部のご配慮で、岡山駅西口まで学院のスクールバスを手配して頂き、雲ひとつ無い青空の下、久しぶりに会った同窓生と楽しい会話を交わしながら一路学院を目指してバスを進め、瀬戸大橋を渡り香川県に着いたところで、香川なら昼食はうどんと言うことで早い昼食ではありましたが、おいしいセルフでのうどんを学生時代を思い起こしながら頂きました。学院に着くと30年前とは様変わりし、綺麗になったキャンパスに同窓生全員が驚き、それでも思い出の場所をそれぞれ探し出しここは変わって無いとか、こんな建物は無かったとか賑やかに県支部総会場に向かいました。支部総会では、2007年に岡山県支部を設立して2年経ちましたが、まだ支部としての活動が軌道に乗っておらず、活動の活発化をどうするか真剣に話し合われた中、岡山県から学院までは時間にして1時間足らずの距離に有り、ホームカミングして学院での活動を活発に行おうとの意見で一致し、次回も本学院での催しを行う事といたしました。宿泊には同窓会館ロゴス館があり、在りし日に学んだ懐かしいキャンパスもあり是非次回の岡山県支部で行われます催しには卒業生の積極的なご参加をお願いいたします。

関東支部

支部長 山田 昭和さん
(1960年度 英語科卒業)

関東支部会では、毎年11月第3土曜日と決めて集まっています。毎年20名前後の集いですが、中心になるメンバーは13~5名の顔が決まっています。特徴としては、四国基督教学園時代の懐かしい先輩方が、3~5名と、参加されます。喜ばしい限りですが続けて参加される内に召された方、近頃、健康上の理由で欠席される方もあり、学院もこのように歴史が重ねられていることを、実感します。昨年は、新しい参加者3名を含め15名にお集まりいただきました。終わりには、卒業証書・学位記授与式に歌われる賛美歌21-465「神ともにいまして」を歌いました。とても懐かしく、学院の同窓会らしくなりました。今年も楽しみます。



支部総会予定

2010年度支部総会のご案内

四国学院同窓会には、現在9つの支部会があり、2年に1度、各支部総会が開かれています。2010年度は、下記支部総会を開催致しますので、居住されている県支部総会は勿論のこと、近隣県にお住まいの方や、仕事の出張等でたまたまお近くにいらっしゃる等、お気軽にご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

愛媛県支部総会

開催日時 7月31日(土) 15:00～16:30 講演会「讃岐うどんブームのプロモーション」四国学院大学田尾和俊教授16:30～17:00総会17:00～19:00懇親会

会費 4000円 会場 「松山東映ホテル」松山市宮西1-3-40 TEL.089-924-2121

問合せ・申込 河野正支部長 090-1571-1361 返信締切 7月20日



田尾和俊教授

1956年香川県三豊市詫間町生まれ。香川県のタウン情報誌「タウン情報かがわ」の編集長を経て2003年四国学院大学カルチュラル・マネジメント学科教授に就任。香川県の針の穴場うどん店探訪集団「麺通団」を結成し、個性的な視点で、著書「笑いの文化人講座」「恐るべきさぬきうどん」の大ヒットを生み出し讃岐うどんブームの発端となる。テレビやラジオのコメンテーター、株式会社麺通団プロダクト&マネジメントプロデューサーとしてもご活躍中。第一回NTT全国タウン誌大賞金賞、かがわ21世紀大賞、四国新聞文化賞受賞。大学では、学生に最も人気のある実践的でユニークな授業を展開している。

徳島県支部総会

開催日時 8月8日(日) 13:30～講演会15:00～ 総会16:00～18:00懇親会

会費 5000円 会場 「ホテルグランドパレス徳島」徳島市寺島本町西1-60-1
TEL.088-626-1111

返信締切 7月30日

※講演会も予定しています。詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。

大阪支部総会

開催日時 10月9日(土) 11:30～12:00総会12:10～14:00 懇親会

会費 5000円 会場 「メルパルク大阪」大阪市淀川区宮原4-2-1
TEL.06-6350-2111

返信締切 10月1日

広島県支部総会

開催日時 10月16日(土)

詳細が決まりましたら、同窓会ホームページでご案内しますのでご確認ください。
会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

関東支部総会

開催日時 11月20日(土) 12:30～16:30

会費 7000円 会場 「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)千代田区九段北4-2-25
TEL.03-3261-9921

問合せ・申込 山田昭と支部長 090-8442-6359
hharbor@d5.dion.ne.jp 返信締切 11月6日

香川県支部総会

開催日時 11月27日(土) 11:00～12:00総会12:00～14:00懇親会

会費 5000円 会場 「オークラホテル丸亀」丸亀市富士見町3-3-50
TEL.0877-23-2222

返信締切 11月12日

<お問合せ・申込み>

四国学院同窓会事務局 同封しておりますハガキにてお申込ください。欠席の方も住所変更等の確認の為、返信をお願いします。

フリーダイヤル 0120-459-500 (平日9:00～17:30) ファックス 0877-63-4599 メール rogosu@sg-u.ac.jp

※上記支部総会以外にも、準備が整い次第開催する場合があります。詳しくは、四国学院同窓会ホームページ(四国学院同窓会 [検索](#))をご覧ください。

同窓会のご案内

1977年入学生(1980年度卒業) 四国学院大学文学部同窓会

77年入学のみなさん、お元気ですか。卒業以来、早いものでもう30年が経とうとしています。このたび、文学部合同の同窓会を初めて計画しました。公私ともにご多忙の毎日のこととは存じますが、夏の終わりの週末をぜひ空けておいてくださいますよう、お誘いいたします。

日 時	2010年8月28日(土)	世話人代表	鎌田昌代(池田) 浅野淳子(黒川)
対 象	四国学院大学文学部1977年入学生(1980年度卒業生)	幹 事	人文:丸山信栄 社会福祉:佐伯肇 教育:幸田純 英文:藤本あい
集 合	17時30分 同窓会館(ロゴス館) 18時 キャンパス案内 19時 懇親会(生協会館) 21時 閉会	事務局(問合せ先)	清水幸一(1980年度社会福祉学科卒) 現 四国学院大学 教授 TEL.0877-62-2111(内線440) kshimizu@sg-u.ac.jp
参加費	6,000円(食事代3500円 集合写真1500円 事務経費1000円)		

<ロゴス館(宿泊)のお問合せ・申込>

四国学院同窓会事務局 ※宿泊は参加者個人で下記までご予約ください。予約時は「1980年度卒同窓会参加」とお申し出ください。

フリーダイヤル 0120-459-500 (平日9:00~17:30) **ファックス** 0877-63-4599 **メール** rogosu@sg-u.ac.jp

同窓生インタビュー

～ 社会に恩返しを ～ NPO法人設立 須見力也さん(1981年度 社会福祉学科卒業)

Q1 学生生活で一番何を思い出されますか?

同じ社会福祉学科だけでなく、沢山の友人ができ、生活面でも色々助けられました。最近も友人に会いに高知県まで行ってきたところです。勉強面では、ゼミの村山先生、自閉症がご専門の久保先生や増田先生、川田先生に大変お世話になり、大学で視野が広がりました。四国学院大学はキリスト教系なので、他の大学にはない、チャペルの時間が強く印象に残っています。



Q2 卒業後の生活について

大学や今まで生きてきた中で、沢山の人の力を借りて支えられてきたので、何かの形で社会に恩返しができることはないかと、大学を卒業する時から考えていました。卒業してから約20年間は、英語と数学の塾をして、その後、2007年にNPO法人ハーティを立ち上げ、大学で勉強してきたことを活かして、介護事業を始めました。主に居宅介護や重度訪問介護を行い、移動介護もしています。更に、今年3月から、児童デイサービスを開始し、心身にしょうがいや、発達に遅れのある児童を対象に支援や療育を行い、集団生活の中で交流を広げて経験を豊にする場を提供しています。将来的には、不登校児童が通所できる体制や、制度的に難しさもありますが、老人と子どもが共存してできるサービスがしたいと考えています。



前列中央 須見さん、左から2番目 藤原さんも1981年度卒業生

Q3 同窓会活動に期待すること

同窓会があるとしても、全体となると、知り合いが居ないのではないかと不安になり、出席を躊躇してしまいます。対象者を限定して、集まりの規模を小さくした方が同窓生としては、出席してみようかという気持ちになると思います。

インタビューの最中、仕事の電話を挟み、スタッフに指示をするご様子は貫禄そのもの。お話が、うまく聞き取れない私たちに根気よく何度もお答えくださり、インタビューが終了する頃には汗だくに…。昨年、ご結婚されたことを伺うと、さらに大量の汗が…。陽気でよく笑う人柄で、須見さんを慕っているスタッフの姿が印象的でした。

インタビュー 飛田由香

同窓生からのお便り

藤澤一行さん(2009年度 応用社会学科卒業)

2006年に応用社会学科に入学しました。高校卒業まで少人数のクラスしか経験したことがなかったので、入学当初はキャンパス内の学生の多さに驚きました。

4年間の大学生活で印象的だったのは授業やサークルを通じて友人関係の輪が広がっていったことです。大学時代前半は学科の授業で留学生と仲良くなり、学生生活と日常生活の両面で留学生たちをサポートすることが多かったです。このことがきっかけで初めて海外に渡航することもできました。大学時代後半は学内でのアルバイトやサークル活動に参加したことで、これまでの「横」の付き合いから「縦」の付き合いが重なり人間関係の幅がグッと広がりました。授業や趣味、ときには恋愛についてとことん語り合ったのは良い思い出です。

そんな楽しかった学生生活もついに終わり、今は社会人1年生として日々奮闘しています。仕事はもちろんのこと、言葉遣いや立ち振舞いなどあらゆる面が初めての連続です。今は少しずつ慣れてきましたが、配属されたばかりのころは電話を取ることさえ怖かったです。まだまだ駆け出しで不安なことも多いですが、共に頑張る同期の存在や職場の先輩方の支えはとても大きいです。休日には都合を合わせて大学時代の友人たちと会い、学生のころと変わらず他愛のない会話に花を咲かせています。社会人1年生なのでこれからも失敗が多いと思います。ですが、お客様や先輩方の指摘を真摯に受け止め、少しでもみなさんのお役に立てる仕事をしていきたいと思っています。

四国学院同窓会からお知らせ

四国学院大学のご理解とご支援により、2010年度より同窓生支援制度が導入されました。

『四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度』について

(内容) 四国学院同窓生本人・同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫が入学する場合、入学金を全額免除する。

1983年度英語科卒業生のご子弟が社会学部へ入学

卒業して二十七年、四国学院大学は私にとってとても懐かしい所であり、また誇りでもあります。そのような母校にこの春から息子が通うことになり、大変うれしく思っています。この度、今年度より導入された子弟入学金支援制度を利用して頂き、非常に有難く、感謝しております。私がこの制度を知ったのは、入学が決まってからしばらくしてからでした。以前から予告はあったというのに全く知らずにいたことを恥ずかしく思っております。この制度は同窓生の子弟だけでなく、その兄弟姉妹、父母や祖父母、孫まで対象とされているところが素晴らしいと思います。たくさんの方がこの制度を利用され、四国学院大学のキャンパスで学び、そして同窓会がますます発展されることを期待しております。

1984年度教育学科卒業生・1984年度社会福祉学科卒業生のご子弟が文学部へ入学

本制度については、両親が本大学の卒業生ということもあり、娘が今回お世話になることで、本制度のことを大学からの案内で知ることができました。本制度の利用によって、入学の準備も有効に進めることができました大変感謝しております。是非、みなさまもご利用いただければと思います。今後、同窓会活動においても本制度の利用周知と大学の近況等をお知らせいただければと思います。また現在、教育現場で非力ではありますが教育に携わっております。教育を目指すたくさんの方々の後輩たちの姿は、本当に新鮮で学ばされることが多々あります。特に、礼儀正しく「あいさつ」がきちんとできる後輩たちは、現場の上司や同僚たちの間でも高く評価されております。これからもあいさつ大切さを子どもたちに教えられる教員として巣立ってくれること切に願って、お礼とさせていただきます。

『四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援』について

四国学院同窓会は、同窓生支援の一つとして卒業後教育を考えました。時代の変化とともに、その必要性から社会福祉関係等に新しい資格ができた、教員免許資格がわずかの単位不足で取得できなかった方。また資格取得の為だけではなく、教養を身に付けたい同窓生も是非お申し込みいただき、ホームカミングをお待ちしております。

(内容) 四国基督教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学大学院を卒業した者で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、下記のとおり免除および減額します。ただし、四国学院大学大学院生として在籍している者は、対象から除く。

- ① 学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000 円免除)
- ② 学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000 円減額)
- ③ 学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000 円減額)

『四国学院大学学生課外活動支援基金の創設』について

四国学院同窓会活動並びに母校の教育振興・発展のために、物心両面にわたり、ご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

ご存知のとおり、大学においては、2009年に創立60周年を迎え、2010年度からは、全国的にも先駆けて、学部を超えて学びながら将来を描けるメジャー制度が導入されました。学生時代においては、将来の仕事に繋がる勉学面に重点をおくべきことは言うまでもありませんが、社会人となる一歩手前での、クラブ・サークル活動での経験は、人間形成に大変重要だと考えております。地方にある大学ですが、硬式野球部をはじめ、男子ソフトボール部、バドミントン部等が全国大会に出場し、バスケットボールでは世界デフ選手権大会の日本代表になるなど、学生は日々奮闘しています。残念ながら、現状では、歴代からの各クラブ・サークルOB会が整っていない団体も多く、学生は、個々アルバイト等で活動・遠征費をまかなっているのが実情です。四国学院同窓会は、このような厳しい状況を踏まえ、課外活動で頑張っている学生に対し、可能な範囲で、学生支援の一助となればと本基金を創設することを決めました。何卒、ご理解とご賛同をいただきまして、ご支援をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ① 募金額 一口 2000円 (何口でも結構です)
- ② 募金期間 将来に渡り課外活動を継続していくことを考慮し無期限とする。
- ③ 募金振込金融機関 四国銀行善通寺支店 普通344680
四国学院同窓会課外活動基金 代表牧本憲尚

同窓生より寄せられた温かい募金の運用状況については、役員総会および同窓会ホームページにて随時報告をさせていただきます。

＜お問合せ・申込み＞

四国学院同窓会事務局 詳細については下記へお問合せください。

フリーダイヤル 0120-459-500 (平日9:00~17:30) ファックス 0877-63-4599 メール rogosu@sg-u.ac.jp

学章が
変わりました



1950年より
四国基督教学園時代



1963年頃より
四国学院短期大学
四国学院大学文学部



1992年より
四国学院短期大学
四国学院大学文学部・社会学部



2010年より
四国学院大学文学部・社会学部・
社会福祉学部
メジャー制導入

ロゴス館(同窓会館)館内のご案内

同窓会の会場やご家族、ご友人との旅行の宿としてもご利用いただけます。



全景



ホール



2階 洋室(6人、10人用各1室) 1人1,200円/1泊
シャワー共用



2階 和室(8人程度用2室) 1人1,200円/1泊
シャワー共用



3階 個室(4室) 1室3,000円/1泊
お風呂・トイレ付(タオル・浴衣有)



3階 和室(4人用2室) 1室7,500円/1泊
お風呂・トイレ付(タオル・浴衣有)

※お問合わせは四国学院同窓会事務局まで。ホームページからもお申込みができます。

<住所変更のお願い>

同窓生の皆様には、支部総会や四国学院大学の催し案内等をお送りしています。"転居先不明"で郵便物が同窓会に返送されてくる悲しいことにならないように、お手数ですが、あなたご自身で変更届けをお願いします。四国学院同窓会ホームページからでもできます。



四国学院大学 新エンブレム

中央にある「SとG」の文字は、四国学院大学のイニシャルの融合と循環を表現し新たな記号の誕生から「生」を標榜し、本学で学ぶ、知の生成を象徴した。シンボルを囲む文言は、マタイによる福音書5章13節から、本学のモットーでもある。これらの文字が描く姿は、地球を連想させ世界への広がり表現。又、その基に配された植物は、四国学院大学から力強く芽吹く、一對の生命の樹を象徴したものである。

2010年度オープンキャンパス日程

7/24
sat
11:00~16:00

8/28
sat
11:00~16:00

9/18
sat
11:00~16:00

オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。

無料送迎バスルート (予定)

※3日前までにご予約ください。
詳細は決まり次第HP等でお知らせ致します。

香川県内Aルート	ことでん瓦町駅→JR高松駅→JR坂出駅→JR丸亀駅
香川県内Bルート	JR志度駅→JR屋島駅→ことでん高田駅→ことでん学園通り駅→ことでん満宮駅→JR琴平駅
東予西讃ルート	JR新居浜駅→JR伊予三島駅→JR川之江駅→JR観音寺駅→JR高瀬駅
高知ルート	JR高知駅
岡山ルート	JR岡山駅→JR倉敷駅→JR児島駅
徳島ルート	JR徳島駅→JR穴吹駅→JR辻駅

オープンキャンパスや入試に関するお問い合わせ・資料請求は

四国学院大学入試課

通話料無料

 **0120-459-4333**

TEL0877-62-3964 (入試課直通)

E-mail info@sg-u.ac.jp HP <http://www.sg-u.ac.jp>



編集後記

母校を卒業後、四電エンジニアリング(株)に勤務すること25年。会社が所属している(社)日本電気協会より、永年従事功労者表彰をいただきました。(思えば同期の女性は随分少なくなりました。)同窓会会報発行に携わり12年。継続は力なり。後に続く後輩の方に継承出来るように活動していきたいと思っています。

会報委員 飛田(旧姓:千秋)由香 (1983年度 英語科卒業)

発行日/2010年6月 発行者/四国学院同窓会

〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号
TEL 0877-62-5500(直通) FAX 0877-63-4599



0120-459500

<http://ha2.seikyoku.ne.jp/home/shikokugakuindosokai/>
e-mail rogosu@sg-u.ac.jp